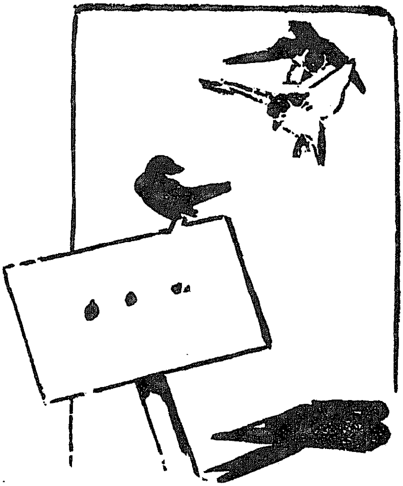

子供のおもちや（その三）

ひさ子

（三）繪畫類

繪畫類も、まづ版に種々あり、大きさに大小あり一板畫もあれば畫双紙になつたのもある、畫き方には筆數の少ないのもあり密畫もあり、畫かれた物には、動物、植物、人物、景色、歴史畫など、誠に様々でございます。實際に近くよく畫かれて色彩の高尙な自然に近い、大きさも子供が見たり玩んだりするに丁度よい物がよろしいでございませうが、何の畫であるか、之は大に撰擇しなければなりませぬ。大人が見るといかにも詩的の感想を惹き起しそうな好い景色の山水の畫でも、子供には、山がある水が流れて居るだけの事で、さほど嬉しくないかも知れませんし、大人からは、犬が走つて居る、梨が並んで居るだけの畫でも、子供は大層面白がるといふ事はよくある事でございます。

一体子供は畫を見る事が大好きでございまして、之に由て實際からは得られぬ知識感情を種々の方面に養ふ事ができますから、其好きであるこそ幸ひ、よく之を利用して導いて行く事は必要でございます。それにはなるべく子供の見て理解する事

のできる、或は説明してさへやれば理解するもの、子供のまだ狭い思想觀念に訴へる事のできるものでなければなりませぬ。細い線で綿密に畫かれて六かしい意味を表はして居るものなどは、單に色彩を美なりと感ずる事はできませうが理解の興味は起りますまい。之よりもむしろ線はあまり細くなく筆數少なくよく分る樣に、子供に親近な物の畫かれた方が子供には歡迎され又實際の利益が多くでございます。

こういふ處から考へまして動植物を自然に近く畫いた物などが最も子供に適して居るやうでございます。實際を觀察いたしましても、こういふ者から段々人物畫歷史畫景色畫と嗜好が進む樣でございます。動植物の畫のあまり小さくないのを室内に掛けて置いてやり、美といふ方にも知力の方に

も利益あるやうに精密に觀察させるなどは、子供の爲に良い事でございます。但しあまり何枚も同時に子供の目の前に提出するといふ事はどれをもザット見過して、十分に見るといふ事をせぬ習慣を養ふ事になりますかも知れませんから、之は注意しなければなりません。又單に畫として見せるのみならず之を實際にひきつけて話をはじめ、畫にも話にも十分の興味を有たせるなどは、子供にとりて嬉しい事で且つ有益で、母の膝に畫を載せてのどかに面白い良い話を語りきかされます時、いかに子供に良き精神的影響が及ぶでございませう。とにかく家庭では子供の爲に十分畫を利用されたいものでございます。

それから今の處ではまだあまり世の中によろしいのがございませんが、農工商等實業に關する畫は、

子供に、何でも物は勤勞の結果生産する物なる事を知らず〳〵覺らしめ、又多方面の社會的知識を收得させる事にもなりますから、あまり注入するのはよくございませんが、こういふ考をもいれるといふ考へでありたいと思ひます。最も畫でなく實際を見せる事ができますならば無論結構でございます。

又一錢や一錢五厘で賣ります樣な畫双紙やポンチ畫の中には、隨分下等なつまらぬ物が多く、說明に苦しむ樣な事を畫いたのや、見るもいやな色どりをしたものなどがございますから、之等は子供に近づけられませぬ。或阿母さんが、自家では十分注意撰擇して玩具を與へて居るのに、他家でつまらぬポンチ畫を貰ひ、それを下女が說明して、飛んだ事を覺え困つて居ると語つて居られました。

(四)恩物

恩物は御存知の通りフレーベル氏の案出せられましたもので、其後幼稚園の專有物の樣になつて居りますが、私の考では家庭でも之を使つて子供に玩ばせる方がよろしいと存じます。其理由は、恩物と申しても、木を積む、板や貝を排べる、紙を摺んだり、剪つたり貼つたりする、粘土をこねて何か作る、細い竹と豆で種々の物をこしらへるなどと樣々ございますが、つまり子供が自分で或物を組み立てたりこしらへたりする、即ち手を下して頭の中の思想を發表する事に由て手と眼を練習し工夫想像の力と美的心情を養ひ心意の發達に資する、といふのが目的なのでございますから、之をするのは幼稚園に限るといふ譯はございませ

ん。紙や石盤に書を書くといふ事などは一般に家庭にも行はれ、幼稚園でも手技としてさせて居る位でございますから、常に兩者が參考しあつて、幼稚園の手技の内で家庭に用ひて良い物は阿母さんも研究し、幼稚園の保姆も亦家庭での事をよく考へるといふ事は、兩者の改良進歩の上に望ましい事と考へます。

一体、普通の家庭に最も多く備へらるゝ普通の玩具に、大抵チャンと人形にできて居るとか、滊船にできて居るとかで、子供が之に手を下して他の物に作り替へるといふ事はあまりできませんが、恩物は其特色として、子供のはたらきに由て何物をでも作り出す事ができますから、此方面で子供の心意な身体の活動に大なる滿足を與へます。此點から考へましても恩物と普通の玩具を併用するのは利益ある事と存じます。それには先づ普く阿母樣方が恩物の理論と其用ひ方などを研究なされまして採用して見ようと御思ひになるのは、試して御覽になるといふ樣ではいかゞでございませう。

(五)小道具

東京湯島に在る教育博物館の『家庭及幼稚園の玩具』といふ部には、日本は勿論外國のが澤山排べられてございますが、阿母樣方が參考として御覽になると有益であらうと存じます。さて此處に排べられて居ります外國製玩具の内、天然物人工物等社會百般の物を小さく摸してできて居る物は別に日本のと大したかはりもございませんが、其日本のと違つて特色があると思ひますのは、イギリス、ドイツ、ロシヤ などの製品中、機織道具、

紙花製造道具、鐵線細工、煉瓦石組立、紙箱細工鐵葉細工、製本機、風車組立、などの玩具が、それ〳〵子供が使用するのに適する樣に、原料や小道具が取揃へられてある事でございます。日本では子供が使つてもよい樣な小さな鋏位はございますが、又幼稚園では土なり紙なりで物を細工するといふ事をいたしますから從つて之に要する道具も備へられて居りますが、まだ家庭ではでき上つた物を玩ぶ事が主になつて居つて、子供相應の小道具を使つて子供自身で物を作り上げるといふ事があまり行はれず、又歡迎されず、時には子供が紙を細かく切つたりなどすると『又ゴミヲチラケテ』など一口に叱る處もある樣に思はれます。尤も無暗に原料を切つたり小さくしたりしてしまふのは浪費で、良くございませんが、考ある大人の指導注意の下に、子供自身が小さい手に適した小道具を使ひ原料を以て、手づから風車を作つたり紙箱をこしらへたりいたしますならば、已に大人がチャンと仕上げた物を與へるのと比べまして又違つた方面の利益があり、手指の運用に由て手業が練習され、樣々の心力の發達を助け、熱心勤勞其他の良い習慣が養はれると思ひます。それで家庭でもこういふ遊が行はれ、時には玩具の小破損などは子供自身で修繕する事もあり、從て子供の使ふのに適した小道具が種々世の中に現はれる樣にと望んで居る事でございます。